

1 基本項目	事務事業名	河川維持事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	河川維持事業				係名	維持管理係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保					項	河川費
		施策名	11 災害に強いまちの形成					目	河川総務費
基本事業名		11-1 浸水対策の強化				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	異常気象や都市化による浸水被害対策や、河川の機能維持・回復のために維持補修を行う	
	対象	普通河川等	
	手段 (活動指標)	河川等の改修や修繕の必要な箇所を把握する	
	意図 (成果指標)	河川の改修、維持修繕を行い河川機能の維持・回復を行う	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 河川等の改修や修繕の必要な箇所数	件	50	62	50	50	100.0%	50
	②							
	③							
成果指標	① 改修や修繕により機能の維持や回復を行った箇所数	件	40	50	40	44	110.0%	40
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						
	③工事請負費	円	13,000,000	12,252,450	12,512,461	12,464,172	1.7%	19,500,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	500,000	102,057	987,539	484,648	374.9%	500,000
	支出合計 (A)	円	13,500,000	12,354,507	13,500,000	12,948,820	4.8%	20,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			5,000,000	5,000,000		
	⑤一般財源	円	13,500,000	12,354,507	8,500,000	7,948,820	-35.7%	20,000,000
	収入合計	円	13,500,000	12,354,507	13,500,000	12,948,820	4.8%	20,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	8	9	9	9	0.0%	8
	②年間所要時間	時間	3,200	3,220	3,200	3,740	16.1%	3,500
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	13,440,000	13,524,000	13,440,000	15,708,000	16.1%	14,700,000
	総費用(A+B)	円	26,940,000	25,878,507	26,940,000	28,656,820	10.7%	34,700,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	河川の改修、維持修繕工事による河川機能の維持や回復	
	河川改修工事19件 の実施	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令などにより市による実施が義務付けられている(準用河川)
目的の妥当性					1 妥当である	総合計画の施策に則している	
対象の妥当性					1 妥当である	総合計画の基本事業に則している	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	1 高い	100%を超えている	
				類似事業の有無	1 なし	他の事務事業はない	
				上位施策への貢献度	2 普通	改修や修繕を行い貢献している	
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	施工方法や使用材料を精査し、コスト削減に努めている	
				実施主体の適正化	1 適正である	法令などにより市による実施が義務付けられている(準用河川)	
				負担割合の適正化	1 適正である	法令などにより市による実施が義務付けられている(準用河川)	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果及び今後)	安全で快適な暮らしやすいまちを実現するには不可欠な事業であるため、安全性を考慮した工法を採用しながらコスト削減を図り、現状を維持していけるように進めていく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	雨水幹線築造工事			担当部署	課名	下水道課	
	予算事業名	雨水幹線築造事業				係名	下水道工務係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1039		
	事業期間	開始年度	平成9年頃	終了年度	当面継続	予会計	下水道事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目目	款	下水道費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項	下水道事業費
		施策名	11 災害に強いまちの形成				目	公共下水道事業費
基本事業名	11-1 浸水対策の強化			アウトソーシング導入状況		導入予定なし		
根拠法令	下水道法(昭和33年法律第79号)第3条			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	梅雨、台風などの豪雨時における都市部の浸水被害を防止するため、経田地区の住宅密集地などを区域とする排水区(こうなぎ川1号雨水幹線)を整備をする事業。 また、魚津駅周辺地域を区域とする村木排水区において溢水被害を防止するため、整備する事業。
	対象	雨水排水区内の住居、住民、事業所等
	手段(活動指標)	・国庫補助申請、地元説明・交渉、工事の設計積算、監督、完成検査及び引渡し・支払い等の事務を行った。 ・北中1号雨水幹線 舗装本復旧、こうなぎ川1号雨水幹線 74mの整備、村木排水区の調査 1式
意図(成果指標)	豪雨により発生する浸水被害を防止する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 北中1号雨水幹線整備済み延長[累計(延べ延長)]	m	1,830	1,830	-	-	-	-
	② こうなぎ川1号雨水幹線整備済み延長[累計(延べ延長)]	m	110	110	388	287	74.0%	576
	③							
成果指標	① 北中1号雨水幹線整備率[累計](整備済み延長/整備計画延長)	%	100	100	-	-	-	100
	② こうなぎ川1号雨水幹線整備率[累計](整備済み延長/整備計画延長)	%	100	100	39	29	74.4%	57
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	278,000	202,015	293,000	261,057	29.2%	290,000
	②委託料	円	6,750,000	6,750,000	16,032,000	13,305,600	97.1%	12,000,000
	③工事請負費	円	63,037,500	60,125,500	34,880,000	17,836,000	-70.3%	30,000,000
	④負担金補助及び交付金	円						8,714,000
	⑤その他	円	18,887,500	16,551,763	3,756,000	2,712,000	-83.6%	
	支出合計(A)	円	88,953,000	83,629,278	54,961,000	34,114,657	-59.2%	51,004,000
財源内訳	①国庫支出金	円	41,875,000	40,467,000	25,456,000	15,522,000	-61.6%	23,500,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円	41,600,000	38,995,000	25,700,000	16,864,000	-56.8%	24,000,000
	④その他(使用料、雑入等)	円	5,478,000	4,167,278	3,805,000	1,728,657	-58.5%	3,504,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	88,953,000	83,629,278	54,961,000	34,114,657	-59.2%	51,004,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	7
	②年間所要時間	時間	2,400	2,400	2,400	2,400	0.0%	2,400
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	10,080,000	10,080,000	10,080,000	10,080,000	0.0%	10,080,000
総費用(A+B)	円	99,033,000	93,709,278	65,041,000	44,194,657	-52.8%	61,084,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	事業実施計画策定のための国土交通省他関係機関との協議 整備のための関係機関との打ち合わせ及び地元説明会の実施 こうなぎ川1号雨水幹線 74mの整備 近年溢水被害が多発している、村木排水区及び周辺の排水区を含めた、雨水排水区の見直し及び事業計画に着手。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						1次評価(課長総括)	2次評価	不要	
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	下水道法により公共下水道の施行管理は市が実施することとされており、市の関与は妥当である			
				目的の妥当性	1 妥当である				市民の安心・安全を守る事業であり目的は妥当である
				対象の妥当性	1 妥当である				対象は計画区域内の市民等であり、妥当である
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり				
				類似事業の有無	1 なし				
				上位施策への貢献度	1 高い				災害に強いまちづくりに直結した事業であり貢献度は高い
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い				
				実施主体の適正化	1 適正である				
				負担割合の適正化	1 適正である				雨水事業は公費で負担して施行すべきものであり、適正である
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	後の方針(評価結果及び今後の方針)	豪雨による都市型の溢水、浸水被害を防止し、安全で安心な市民生活を確保するために必要な事業でありより、一層の事業促進が望まれる。				評価結果			